

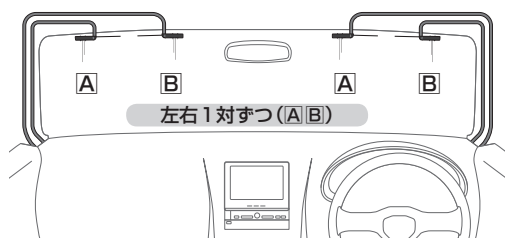
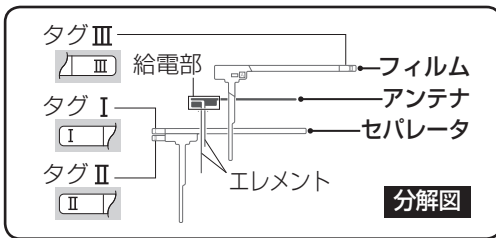
地上デジタルアンテナの取り付けかた

取り付ける前に アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。

- 貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス面、ピラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取り、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
 - ・ガラス面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因になります。
 - ・気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでフロントガラスを温めてください。
 - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合、取り付けできません。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。
 - 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 仮止めて、貼り付ける位置や左右の向きをご確認ください。(貼りなおせません)
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから10 cm以上離して貼り付けてください。

■ アンテナは3層構造です。

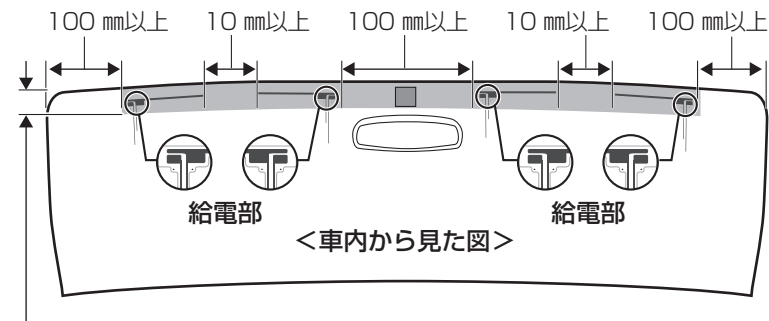
■ 取付例(車内から見た図)



貼付位置について

- 必ず車室内(フロントガラスの上側)に貼り付けてください。サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- 性能を十分発揮するために、必ず指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。
- 国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。

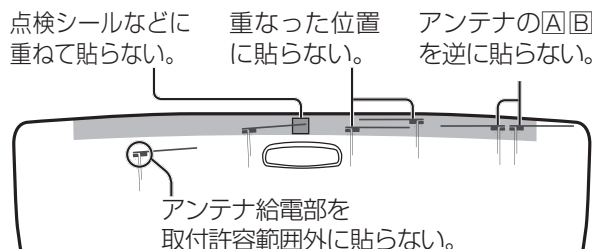
*道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第39条および別添37



給電部をフロントガラス上端から25 mm以内に貼り付けてください。(セラミックライン上にも貼り付けられます)

× 右記のような貼り付けは、絶対にしないでください。

- 国土交通省の定める保安基準に適合しない場合があります。
- アンテナの性能を十分に発揮できません。

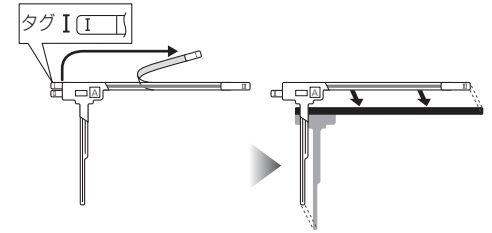


フロントガラスにアンテナを貼り付ける

Aを例に説明しています。Bも同様に貼り付けてください。

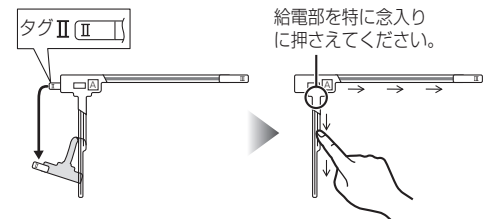
1 地上デジタルアンテナのタグIを持って、セパレーターをはがし、貼り付ける。

- 強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因になります。
- 糊面に触れないでください。
- 貼付位置を確認してから貼り付けてください。



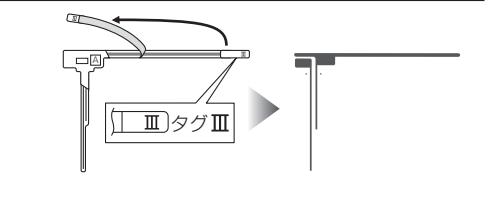
2 タグIIを持ってセパレーターをはがし、エレメントをしっかりガラス面に密着させる。

- 矢印の方向に、エレメントに沿って指などで均等に押し付け、ガラス面に密着させてください。
- 車外から見て、エレメントがガラス面に密着していることを確認してください。



3 タグIIIを持って、フィルムをゆっくりとはがす。

- エレメントが貼り付いていることを確認してください。
- エレメントがフィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻してエレメント上をこすり、再度はがしてください。



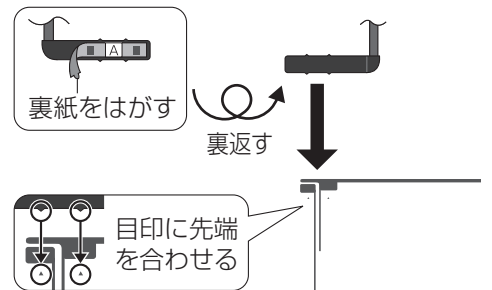
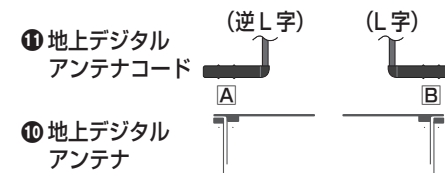
4 他の3枚も同様に貼り付ける。

アンテナコードを取り付ける

1 車の内張り(ピラーのカバー)を取り外す。

2 アンテナコードの裏紙をはがし、端子をエレメントの給電部に貼る。

- 同じマークのアンテナとコードを組み合わせてください。



3 コードを引き回す。

- 他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。デジタルテレビの音声に雑音が入る原因になります。



4 他の3本も同様に貼り付ける。

5 アンテナコードをモニターユニットに接続する。(→裏面)

- 配線後、カバーをもとに戻してください。

